



柳田国男という個性は、およそ「世に知られた」個性である。その個性は、柳田国男の個性を育んだもので、時代と人とのすれ違った個性であり、また、柳田国男の個性は、柳田国男の個性を育んだもので、時代と人とのすれ違った個性である。

柳田国男と現代

生誕100年 その学問

後藤総一郎

その最初の仕事は、明治国家の歴史政策の官制的画一的政策にあらわれ、農民の内面的理解と政策の科学を求め、調査旅行であった。



▲ 柳田 民俗学の原点と なった連野の五百羅漢

明治国家批判から出発 「固有信仰」解明が主題

「固有信仰」の解明が主題。柳田国男の学問は、明治国家の歴史政策の官制的画一的政策にあらわれ、農民の内面的理解と政策の科学を求め、調査旅行であった。

その最初の仕事は、明治国家の歴史政策の官制的画一的政策にあらわれ、農民の内面的理解と政策の科学を求め、調査旅行であった。

柳田国男の学問は、明治国家の歴史政策の官制的画一的政策にあらわれ、農民の内面的理解と政策の科学を求め、調査旅行であった。

